

授業科目	英語文学Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21210J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	ブラウン馬本 鈴子							
授業概要	前期の英語文学入門Ⅰに引き続き、英米文学の入門講座として、欧米人なら誰でも読んだことがある本を読んでいく過程で、文学作品の技法や背景を学習していく。後期の本講座では、英語学習者用に編集されたオックスフォードの graded readers 版の難解ステージをレベルアップし、アメリカ小説では Little Women と、イギリス小説では A Christmas Carol を読む。また折にふれて、原作と比較をしたり、映像資料を見たり、他の関連作家の作品を紹介したりする。							
学生が達成すべき行動目標	1. 授業で取り上げた英米文学作品をきっかけに、文学作品を深く味わい、今後の専門的な文学作品研究の世界で応用できる。 2. 講義を通して精読、速読を進める中で、高度な英語力の向上ができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	30	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)		20					20	
知識・理解 (DP1-2)		20	30				50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						30	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
授業以外で学ぶ文学作品をアカデミックな観点から原著でも読むことができる。				1. 授業で取り上げた英米文学作品をきっかけに、文学作品を深く味わい、今後の専門的な文学作品研究の世界で応用できる。 2. 講義を通して精読、速読を進める中で、高度な英語力の向上ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	授業オリエンテーション+Little Women 1 導入 CD 音声理解度%、解説後理解度%、夏休みの思い出、クリスマスについて、などを記入	説明・講義	授業前に Google Classroom を確認しておくこと！ 該当部分の予習・復習	90
2	Little Women 2 読解確認・内容解説 作者の人生を紹介し、関連する洋楽を鑑賞する(クラスルーム動画あり)	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
3	Little Women 3-5 読解確認・内容解説	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
4	Little Women 6-8 読解確認・内容解説(クラスルーム動画あり)	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
5	Little Women 9-11 読解確認・内容解説	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
6	Little Women 12-14 読解確認・内容解説	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
7	映像資料(前半)+補足説明 書評『ルイーザ・メイ・オールコットの日記:もうひとつの若草物語』を読む 映画メモ記入	講義・映像資料視聴	該当部分の予習・復習	90
8	映像資料(後半)+補足説明 映画メモ記入	映像資料視聴・感想提出	該当部分の予習・復習	90
9	映画メモ返却 A Christmas Carol 1 読解確認・内容解説	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
10	A Christmas Carol 2 読解確認・内容解説(クラスルーム映画動画、she/girl 和訳資料あり)	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
11	クリスマス・パストのイラスト投票 A Christmas Carol 3 読解確認・内容解説(クラスルームクリスマスプディング動画あり)	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
12	A Christmas Carol 4 読解確認・内容解説(クラスルーム、クリスマス・キャロルのディキンズ英文資料、イギリス・アイルランド資料あり)	講義・レポート解説・演習	該当部分の予習・復習	90
13	A Christmas Carol 5 読解確認・内容解説 結末を原作と比較する(クラスルーム資料あり) 映像資料(冒頭)+補足説明	講義・レポート解説・演習・映像資料視聴	該当部分の予習・復習	90
14	映像資料+補足説明 映画メモ記入	映像資料視聴・感想提出	該当部分の予習・復習	90
15	映画メモ返却 まとめ 小テスト(第1週～第14週の復習・確認及び応用)	質疑応答・小テスト	今までの復習・アンケートに回答	30
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予習復習をすること。			
テキスト	Oxford Bookworms Library 4: Little Women (OUP) Oxford Bookworms Library 3: A Christmas Carol (OUP)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教師の私自身も痛感することですが、教養ある欧米人と英米文学について話をする時に驚かされるのは、日本人と比べて圧倒的に多い読書経験です。英語が母国語でない日本人が原書で英米文学に挑もうとするのは勇気ある挑戦ですが(もちろん良い側面も沢山あることを強調しておく)、膨大な時間がかかるので、その結果として欧米人の読書量には及びません。英語学科の学生には、翻訳版であれ、映画であれ、できるだけ沢山の文学作品に触れてもらいたいと願います。ちなみに授業で扱う本以外にも、英語学習者用に編集された graded readers 版は本大学に数多くありますので、是非図書館へ足を運んでみてください。前期後期とこの英語文学入門講座を受講した学生は、オックスフォード社の graded readers 版のステージ2, 3, 4を読んだことになるので、どのレベルが自分に適しているかを知ること、今後の読書選択に繋がってもらえたらと思います。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>* その他 30%は、ただ出席をすればもらえるわけではない。必ず予習(個人差はあるが1時間程度)をして授業に臨み、熱心な態度で授業に参加したときのみ与えられる。</li> <li>* 小テスト40%は、第15回授業時間内に、指示に従い解答して提出すること。辞書・タブレット・携帯や訳本以外は、後期に扱ったテキストやメモ、自分の和訳やクラスルーム資料をプリントアウトしたものなどすべて持ち込み可能。成績発表後に、希望者には個別に結果を提示する。</li> <li>* レポート30%は、毎回の授業で提出する和訳や確認ミニテスト、感想などで評価する。確認ミニテストやレポートの回答例は授業中に解説したり、学生のレポートの添削例をクラスルームで提示したりする。和訳は、基本的には、シラバス上記記載の授業計画の内容をクラスルームに授業時間開始前までに提出すること。</li> </ul>			

